

## 第5学年 算数科学習指導案

### 1. 単元名「小数のわり算」

### 2. 指導の立場

#### (1) 単元について

本単元のねらいは、「除法の意味を拡張し、除数が小数の場合でも除法が用いられることを理解し、小数の除法の計算の仕方を考えたり、筆算で計算したりすることができるようにすること」である。その際に、整数の場合の計算の意味や計算の仕方を活用して、新しい計算の仕方をつくることができるようにする。

本時では、除数が純小数の場合でも、除法の式に表すことができることを理解し、わり算のきまりを用いて前時と同じように除数を整数に直して計算できるようにする。

### 3. 市の研究テーマとの関わり

令和5年度岐阜市小算部会 研究テーマ（2年目／3年）

#### 見方・考え方を働かせ、数学的に考える児童を育てる指導の在り方

#### (1) 「個別最適な学び」からの授業改善

個別最適な学びの実現に向けて、ロイロノートを活用する。資料箱に本時使えるワークシートを保存し、児童が選択して学習できるようにする。そして、毎時間学習したノートをデータ保存し、児童のつまずきを見つけながら次の支援につなげる。また、復習ノートとして参考になるノートを資料箱に保存して、仲間から学べるようにする。「学習の個性化」として、終末にスタディサプリで類似問題を解いたり、ロイロノートに自分で問題を作り共有したりしている。

#### (2) 協働的に学びを深める数学的活動の具体化

協働的な学びのために、授業開始からグループ隊形をとり、グループ全員がわかるまで問題に取り組むようにする。また、学びの課題とは別に、学びの集団を高めるための絆の課題を毎時間立てるようにしている。そして、終末には課題に対してふりかえりをし、自分の成長を感じるとともに見つけた課題を次につなげることを繰り返し、自己調整力を養いながら学習を進めていっている。本時は数直線図を用いて立式を説明していく活動で、ロイロノートに数直線図のワークシートを送り、それを用いて説明できるようにする。

#### 4. 本時の目標（4／17）

数直線図を用いて立式を説明する活動を通して除数が純小数の場合でも除法の式で表すことができることに気づき、その計算の仕方を考えることができる。

学習活動	指導・援助
<p>1. 問題提示・課題設定</p> <p>【リボン 0.6mの代金が 48 円でした。このリボン 1mのねだんはいくらでしょう。】</p> <p>○前時までの違いを考え、立式をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前は 2.4mで一の位があったけど、今日は 0.6mになった。</li> <li>・リボンの長さが 1mより短くなった。</li> <li>・式 <math>48 \div 0.6</math></li> <li>・リボンの長さが 1 より小さい小数で表されていても、数が変わっただけでわり算を使うと思う。</li> </ul> <p>学びの課題 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">その式でよいと考えたわけを説明しよう。</span></p> <p>絆の課題 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">わからないことをはっきりさせる。 わかりやすく説明する。など</span></p> <p>2. 課題追究『学び合い』</p> <p>○数直線図をもとにして説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・□の 0.6 倍が 48 だから、<math>\square \times 0.6 = 48</math> になり、<math>\square = 48 \div 0.6</math> になる。</li> </ul> <p>○計算の仕方を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<math>48 \div 0.6 = (48 \times 10) \div (0.6 \times 10)</math>  <math>= 480 \div 6</math>  <math>= 80</math></li> <li>・前と同じように、わる数を整数に直して考えると求められる。</li> </ul> <p>3. まとめ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>リボンの長さが 1mより小さい小数で表されていても、1mのねだんを求めるには、わり算を使う。</p> </div> <p>4. たしかめ・振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鉛筆問題 2 を解く</li> <li>→答え合わせ、直しをして、ロイロノートに提出する</li> <li>→班全員ができたならスタディサプリ・問題作り</li> </ul> <p>○学びの課題・絆の課題について振り返る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふりかえりカードに記入する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業前までに本時の自分の絆の課題をふりかえりカードに記入する。</li> <li>・前時と違い、わる数が 1 より小さい純小数であることに気づくようにする。</li> <li>・1mの値段は 48 円より高くなるか安くなるかを考え、商の見積もりをする。</li> <li>・除数が 1 より小さい時も前時までと同じ立式でよいのか考える。</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>ロイロノートの資料箱の中に数直線図のシートを 3 種類入れる。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ロイロノートに送られた数直線図に数をあてはめたり矢印を書き込んだりして、数直線図を根拠に説明する。</li> <li>・仲間に質問をしたり、よりそって一緒に考えたりする姿を認める。</li> <li>・『学び合い』を深めるために各班に Q ワードを配り、使えるようにする。</li> <li>・各班の進度がわかるように、班プレートを板書に位置づけ可視化する。</li> <li>・班全員ができたなら、次の問題に進むようにする。</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>本時の教師用ノート、鉛筆問題の解答をロイロノートに送る。</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>考えたノートの写真を撮り、ロイロノートに提出する。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・数直線図をもとに説明していた姿を価値付ける。</li> <li>・わり算のきまりを使って計算をしていた姿を価値付ける。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【評価基準】知識・技能 整数÷純小数の意味や計算の仕方を理解し、立式して計算することができる。(ロイロノート・練習問題)</p> </div>